

「茨城県内における麻しん(はしか)の流行について」

茨城県内において麻しん(はしか)が流行しています。

2025年5月13日(火)時点で、2025年の累計患者数は21人となりました。

過去10年で過去最多です。

それに伴いまして、以下のご協力をお願いいたします。

1. 医療機関にて麻しんの診断を受けた場合には、速やかに学校にご連絡ください。

麻しんは第二種学校感染症の一つです。

解熱した後3日を経過するまで出席停止となります。

2. 母子健康手帳で麻しんワクチンの接種歴をご確認ください。

麻しんの予防にはワクチン接種が最も有効です。麻しんワクチンは1978年に定期接種(1回)が開始され、現在は2回(1歳、小学校入学前)実施されています。

〈定期接種の回数〉

- ・1990年4月2日以降に生まれた人…2回(1歳、小学校入学前)
- ・1990年4月1日以前に生まれ、50歳以下の人…1回
- ・50歳以上の人…0回(一部、任意接種で受けた人もいる)

但し50歳以上の方は既に罹患済みで抗体を持っている場合が多いです。

ワクチン接種に関する疑問点につきましては、かかりつけの医療機関にご相談ください。